

単元名 【旧】どきどき わくわく まちたんけん

配当時間 9時間

単元の目標 (1) 自分の町を探検し、調べる活動の中で、町の特徴やよさ、そこに暮らしたり働いたりする人々の様子などに気付くことができる。
 (2) 友達と一緒に町探検へ行き、発見したことや体験したことなどを絵や文にまとめて、まわりの人々に伝えることができる。
 (3) 自分たちが住む町を、友達と協力して調べたり、探検したりする活動を通して、自分たちの町に対して親しみや愛着をもとうとする。

標準的な展開例

02060106_001

【準備等】 まちの絵地図、色シール、カード、記録カード、付箋、探検バッグ、デジタルカメラ等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 まちの「すてき」を伝え合う。 ★まちの「すてき」を伝え合おう</p> <p>○まちの様子を思い出し、まちの「すてき」を伝え合う。 ・おもしろい形のおまんじゅうを売っている和菓子屋さんがあります。 ・毎朝おまわりさんが声をかけてくれます。 ・昔から立っている大きな木があります。 ・いいにおいのするパン屋さんがあります。</p> <p>○友達の紹介した「すてき」を聞いて、見たいことや知りたいことを伝え合う。 ・おもしろい形のおまんじゅうって、どんな形のおまんじゅうなのか知りたいです。 ・どのくらい大きな木なのか見てみたいです。何年前から立っているのか知りたいです。</p> <p>2, 3 探検に行きたい場所を伝え合い、グループに分かれて探検の計画を立てる。 ★まちの「すてき」探検の計画を立てよう</p> <p>○探検に行きたい場所を伝え合い、グループに分かれる。</p> <p>○探検の計画を立て、めあてをもつ。 ・探検に行く日、行く時間 ・係（役割） ・行く場所と順番 ・持っていく物 ・通る道 ・見つけたい「すてき」（場所、もの、人） 等</p> <p>○安全な探検の仕方を伝え合い、グループで探検の約束を決める。 ・時間を守る。 ・安全に気を付ける。 ・人に迷惑をかけない。 等</p> <p>○計画を記録カードにかく。</p> <p>○挨拶やインタビューの練習をする。 ・こんにちは。〇〇小学校の〇〇です。 ・お話をしてもよろしいですか。 ・生活科の学習でまち探検をしています。 ・お話を聞かせてください。 ・ありがとうございました。 ・さようなら。</p> <p>4～6 探検に出かけ、地域の場所やもの、人とかかわりながら、まちの「すてき」を見つける。 ★まちの「すてき」探検に行こう</p>	<p>・学校を中心としたまちの絵地図を用意し、その中の児童の家の場所に、名前を書いたシールを貼っておく。</p> <p>・場の設定として、商店街の店の写真で商店街マップをつくるなど、地域の様子をいつでも見られるようにしておくとうい。</p> <p>・教科書P. 21のイラストやP. 22, 23の写真を参考に、自分たちの地域の「すてき」を考えさせる。</p> <p>・地域の場所、もの、人に注目させ、自分のお気に入りの場所や知っていることなど、自分と地域や自分と人とかかわりを紹介し合うようにさせる。</p> <p>・児童の発言をまちの絵地図に付け加え位置関係を捉えさせ、3年生からの社会科の学習へ接続するようにする。</p> <p>・友達の「すてき」を「見たい」「知りたい」という思いを、次時からの探検の活動へつなげる。</p> <p>・児童の探検が予想される場所については、安全面を考慮したり、探検場所に問い合わせたりして、探検が可能かどうかを事前に調べておく。</p> <p>・児童の探検したい場所、知りたいもの、会いたい人などを考慮して、4～6人程度のグループを編制する。</p> <p>・探検の際には、児童の安全確保のため、保護者などの協力を得るようにしておく。協力依頼の連絡は、余裕をもって行う。</p> <p>・危険な箇所や、注意の必要な場所を絵地図で確認し、探検の順番や通る道を決める際の参考にさせる。</p> <p>・緊急時の対応（学校への連絡方法など）について、確認する。</p> <p>・教科書P. 32「ちがいをさがそう」を活用し、探検のルールやマナーについて確認するとよい。</p> <p>・教科書P. 25「やくそく」や教科書P109「べんりてちょう」を参考に、「安全に探検する」「人に迷惑をかけない」という目的を確認しグループの約束を決めさせるとよい。</p> <p>【評】探検の計画を立てる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・方面別の絵地図を記録カードの裏に印刷しておき、歩くコースを記入させるようにする。</p> <p>・教科書P. 27「たんけん名人になろう」を活用し、グループごとに挨拶やインタビューの練習をさせる。</p> <p>・探検で、不思議に思ったりもっと知りたいと思ったりしたことは、地域の人に質問するように伝える。</p> <p>・探検場所には、事前に活動の趣旨や到着予定時刻などを知らせ、協力を依頼しておく。</p> <p>・2年生ではまち探検を2回実施する。1回目の今回は、主として場所やものとかかわりを重視し、秋の2回目の探検では、人とかかわりを重視するように支援する。</p>

- まち探検の視点を確認する。
 - ・まちの「すてき」（不思議なもの、おもしろいことなど）を見つけること
 - ・諸感覚（におい、音など）を使ってまちの「すてき」を探すこと
 - ・目的地以外でも、まちの「すてき」を探すこと
- 探検の約束を確認する。
 - ・探検のルールやマナー
 - ・緊急時の対応
 - ・帰校時刻 等
- まち探検に行き、まちの「すてき」を探したり、インタビューしたりする。
 - ・おもしろい形のおまんじゅうは、ダイコンの形をしたおまんじゅうのことだったのですね。
 - ・お茶屋さんの前は、お茶のいい香りがします。家のお茶の味とは違って、とってもおいしいです。

- 7 探検で見つけた「すてき」をグループごとに振り返り、心に残ったことを記録カードにかく。
- ★探検で見つけたまちの「すてき」をかこう
- まちで見つけた「すてき」をグループで振り返る。
 - 心に残ったことを記録カードにかく。
 - ・自転車屋さんが、パンクしたタイヤを修理していました。私の自転車も、壊れたらこのお店で直してもらいたいです。
 - ・たこ焼きに、大きなたこが入っていました。たこ焼き屋さんにインタビューしたら、「〇〇小の子は、ここで食べた後、きれいに片付けて帰るから助かるよ」と言っていました。
- 8 まちの「すてき」を紹介し合う準備をする。
- ★まちの「すてき」を紹介し合う準備をしよう

- グループで、伝えたい「すてき」をカードにかき、絵地図に貼る。
 - ・ダイコンまんじゅう
 - ・お茶屋さんのおいしいお茶
 - ・自転車屋さんの修理する道具
 - ・たこ焼き屋さんの道具
 - ・交番の山内さん 等
 - まちの「すてき」を紹介する練習をする。
 - ・畑でいろいろな野菜を育てているおばあちゃんとお話して、なかよくなりました。野菜を育てているおばあちゃんみたいに、わたしも毎日水やりをしようと思いました。
- 9 まちの「すてき」を紹介し合い、気付いたことや感想を伝え合う。
- ★まちの「すてき」を伝え合おう
- 絵地図を見せながら、まちの「すてき」を紹介し合う。
 - ・おもしろい形のまんじゅうは、だいこんの形でした。このまちの有名な野菜をお菓子にしたそうです。
 - ・毎朝挨拶をしているおまわりさんは、山内さんと言います。ぼくの名前を覚えてもらえて嬉しいです。今度は、どんな仕事をしているか聞きたいです。
 - 他のグループの発表を聞いて、気付いたことや感想を伝え合う。

- ・保護者の協力を得る際には、学習のねらいと役割分担をきちんと伝えておく。
- ・挨拶の仕方や、振る舞いなどに不適切な行動があったときには、その場できちんと指導してもらうように依頼しておく。
- ・場所、もの、人の3つの視点からまちの「すてき」を探すことを伝える。

- ・教科書P.30「まちでさがそう」を参考に、音やにおいなどの諸感覚を使ってまちの「すてき」を探す視点も与える。

- ・探検で見つけたことや気付いたことを、その場で記録カードにメモしたり、デジタルカメラで撮影したりさせる。
- ・付添いの教師や保護者に、「何を見つけましたか」「すごいですね」などと声をかけてもらうように依頼し、探検の意欲を高めたり、まちの「すてき」を再発見したりできるようにする。

【評】まち探検の活動の様子や伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・記録カードのメモを基に振り返らせる。
 - ・探検した場所の様子や発見したもの、出会った人のこと、聞いたことなどをかくように指導する。
 - ・地域の人と自分とのかかわりや、地域の人が自分たちの生活を支えてくれていることに気付いた児童を称賛し、全体に広げる。
- 【評】記録カードへの表現を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教科書P.29「はっぴょう名人になるう」のように、「写真を見せる」「劇にする」「クイズにする」などの方法で発表することも考えられるが、「つたわる広がるわたしたちの生活」の学習で、まちのすてきを発表する活動があるため、ここでは、作品をつくるなどの大がかりな発表とはせず、絵地図をつくり、それを見せながら紹介するといった計画とする。
 - ・一枚のカードにつき1つずつ、絵と文でまちの「すてき」をかかせる。何枚かかせてもよい。
 - ・教科書P.78の絵地図のように、今回の探検で見つけた「すてき」をピンク色のカードにかき、夏休み中の探検は青色のカード、秋に行う「もっと なかよし まちたんけん」では黄色のカードを使用するなど、回を重ねるたびに色を変えて貼り足していくことで、地域とのかかわりが深まったことを視覚的に捉えさせるようにする。
 - ・児童がかいたカードは、教師がその位置を助言、支援しながらまちの絵地図に貼らせる。
 - ・カードにかいた「すてき」を補足説明する形で紹介することを伝える。

- ・探検で見つけたものや、まちの人に聞いたこと、場所、もの、人と自分とのかかわりについてまちの絵地図で確認することで、地域にはさまざまな場所やものがあり、多様な人々が生活していることを視覚的に捉えさせる。

- ・自分の調べた場所について、他の場所を探検した児童から気付いたことや感想を聞く時間

- ・まちの「すてき」をたくさん見つけました。まだ、まちには知らないところがたくさんあるので、また行ってみたいです。
- ・〇〇さんは、おまわりさんとなかよくなれてうらやましいです。わたしも、今度、おまわりさんとお話したいです。

を設け、これからも探検を続けたいという意欲を高める。

【評】気付いたことや感想を紹介し合う活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】